

2021年9月1日

日本トランスシティ株式会社
取締役社長 安藤 仁

三重県産 CO2 フリー電気、霞バイオマスセンターを脱炭素化へ

当社は、三重県が取り組んでいる「三重県産再エネ電力利用促進事業」の主旨に賛同し、当社のバイオマス燃料専用保管施設である霞バイオマスセンター（三重県四日市市霞一丁目24-3）で利用する電力として、中部電力ミライズ株式会社（以下、中部電力ミライズ）と「三重^{うま}美し国 Green でんき」の需給契約を締結し、9月8日より利用を開始します。

中部電力ミライズが提供する「三重^{うま}美し国 Green でんき」は、三重県内に立地する櫛田川や宮川等の水系にある水力発電所で発電された電気に、同発電所に由来する環境価値を活用することで、CO2 排出量ゼロにした三重県産の電気を同県内の事業者を中心として供給するもので、事業者の脱炭素に向けた取組みに活用できるものです。

当社では、中期経営計画の重点施策の取組みの一つとして「事業活動を通じて環境負荷低減への取組みを推進する」を掲げており、今回の霞バイオマスセンターにおいて CO2 フリー電気の調達を行うことで、年間約 71 トン*の CO2 排出量削減につながります。

*2020 年度の使用実績値にもとづきます

また、「三重^{うま}美し国 Green でんき」の契約においては、電気料金の一部を三重県内の再エネ電源の維持・拡大に活用する方針です。当社は、自社の CO2 フリー化だけでなく三重県内の再エネ電源の維持・拡大の直接的な支援にも取り組み、本取組みによって生まれた再エネの活用により更なる経済循環等を目指してまいります。

引き続き、地産エネルギーの有効活用と、更なる地産再エネ電源の開発・活用の両立を図りながら、地域貢献に努め、再エネ拡大に向けた取組みを推進していきます。

本件についてのご照会は、日本トランスシティ株式会社 総務部（059-336-5018）までお願いいたします。

以 上